

水土里 ネット あおりだより

CONTENTS

ご挨拶	会 長	丸井 裕…………… 2
	農林水産部長	栗林 豊…………… 3
	参議院議員	進藤 金日子…… 4
本会の役員紹介……………		5
青森県農業農村整備事業予算 / 青森県農地大区画化等推進協議会…		6
令和8年度 事務分掌、機構図……………		7
各部所の取組事項と部所長・対策監からの今年度の決意表明…		9
NEW FACE 紹介……………		12
DX 推進プロジェクトチーム……………		13
第69回通常総会……………		14
表彰関係……………		15
女性の会 / 青年部会……………		16
研修会等の実績……………		17
会議等の実績……………		18
各種行事……………		19
フォトコンテスト作品募集 / 第48回全国土地改良大会		
青の煌めきあおり国スポ・障スポ開催案内……………		20

表紙写真：令和7年度あおりの農山漁村フォトコンテスト
農山漁村の風景部門
優秀賞「残雪の八甲田に抱かれて」

2026年 6 月
第415号

青森県土地改良事業団体連合会
(水 土 里 ネ ッ ト 青 森)





新年度のご挨拶

青森県土地改良事業団体連合会

会 長 丸井 裕

本会の運営につきまして、皆様方には日頃より特段のご高配を賜っておりますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なご尽力、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

まずは、今年1月からの記録的な豪雪により、県内各地で、りんごの枝折れをはじめ、農業用ハウスの損壊など、農業分野においても大きな被害が生じました。特に、りんごにつきましては、枝折れや幹割れが過去最大の被害面積となり、被害額は2年連続で200億円を超えるなど農業者にとって大きな打撃となりました。謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、我が国の農業・農村を取り巻く環境は、ウクライナ危機や中東紛争の長期化など国際情勢の不安定化や気候変動の影響に加え、資材価格の高騰、担い手の減少・高齢化などにより、依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、国においては、昨年度策定した、食料・農業・農村基本計画、土地改良長期計画、第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、食料安全保障の確保や農業の持続的な発展、防災・減災、国土強靱化に向けた施策が進められております。

今後は農業者の急速な減少と高齢化が見込まれることから、農地の大区画化・集約化やスマート農業を推進するため、令和11年度までの5年間で「農業構造転換集中対策」と位置付け、別枠予算の措置により、農作業の効率化や米の生産コスト低減を図ることとしており、令和8年度の農業農村整備関係予算は、令和7年度補正予算と合わせて6,942億円が確保され、前年度比で442億円増の規模となりました。本県農業においても将来を見据えた大きな機会と捉え、予算を最大限活用しながら、積極的に事業をしていく必要があります。

本会といたしましては、こうした国や県の動向を踏まえ、農業農村を巡る情勢の変化に的確に対応しつつ会員の皆様のニーズに応えていかなければならないと考えております。そのためには、国等に対して事業効果を示しながら、必要な政策の実現や予算確保が図られるよう、積極的に要請してまいります。

さらに、本年度からは、本会職員による「DX推進プロジェクトチーム」を編成し、UAV等の運用や利活用の検討を進めるとともに、デジタル技術を活用した業務の効率化・高度化に積極的に取り組んでいきます。

最後になりますが、国政の場においては、我々の代表者である進藤議員を通じ、現場の声をしっかりと届けながら、地域課題の解決に向けた取組を一層推進してまいりますので、皆様方のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とますますのご活躍を祈念申し上げますとともに、本年が災害のない実り多き年となりますことをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



就任のごあいさつ

青森県農林水産部

部長 栗林 豊

この度、4月1日付けで青森県農林水産部長に就任しました。皆様方には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、本県農林水産行政全般にわたり格別の御支援、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、令和6年度にスタートした県の基本計画「『青森新時代』への架け橋」では、「農林水産業が持続的に発展する社会」を掲げており、その実現に向け「青森新時代『農林水産力』強化パッケージ」に基づき各種施策を展開しています。

令和8年度は、これまでの重点項目である「所得を上げる」、「産業を守る」、「次代を支える」に「食料を安定供給する」を新たに加えた4項目に取り組むとともに、「施策や技術等の県民への浸透」を部の共通テーマに掲げ、多様な世代をターゲットとした情報発信体制の構築を図っていきます。

また、令和7年度から農業構造転換集中対策期間が始まっており、農業の持続可能性を高め、国際競争力や食料自給率の向上を目指すための基盤づくりが求められています。このため本県においては、従来のほ場整備に加え、新たに大区画化等推進協議会を組織し、農業法人等が自ら行う簡易な農地の大区画化を進めることとしています。これらの取組を通じ、農業の生産性向上とコスト低減を実現し、次世代が希望を持てる強い農業構造を築いてまいります。

併せて、近年の頻発化・激甚化する自然災害や農業水利施設の老朽化等に対応するため、農業農村の防災・減災対策や強靱化対策、農村の有する多面的機能の維持発揮に向けた地域の共同活動への支援も切れ目なく行っていきます。

以上の取組を着実に進めるためには、日頃から農業の現場に寄り添い、土地改良事業に関する豊富な知見と技術力を有する皆様のお力添えが不可欠でありますので、引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

話題は変わりますが、今年は本県において、「あすなろ国体」以来49年ぶりとなる国民スポーツ大会と、本県で初めての全国障害者スポーツ大会である「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」が開催されます。スポーツで県民の心が一つになるような大会を目指しておりますので、皆様におかれましても、競技会場での応援などを通じて、この大会を大いに盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

最後に、今後も生産者や関係団体と対話を重ねながら、一丸となって農林水産行政に取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続き、皆様方の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げ、就任の御挨拶といたします。



激動と転換の時代

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤金日子

水土里ネットあおり及び会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年10月に我が国初の女性総理となる高市早苗内閣が発足し、本年2月に実施された衆議院議員選挙では、自民党だけで定数の3分の2を上回る316議席を獲得しました。一昨年の衆議院議員選挙からわずか1年数か月、参議院議員選挙からは半年余りで、政治状況は大きく変化しました。

また、中東情勢による石油製品の高騰や供給不足への懸念は、国民生活や農業にも影響を及ぼしてきています。

本年3月に2025農林業センサスの確定値が公表されました。青森県では、農業経営体の大幅な減少とともに法人経営体も5年前に比べ0.8%減少（全国は10.1%増加）しましたが、1経営体当たりの経営耕地面積は3.95haで0.47ha増加し、経営耕地面積10ha以上の農業経営体の面積シェアが全体の50.8%を占めるなど、規模拡大が進展しています。

令和6年の青森県の農業産出額は、過去最高の4,119億円で前年と比べ653億円増加し、初めて4,000億円を超え全国順位は前年7位から5位に上昇しました。また、生産農業所得は1,515億円で前年から289億円増加し、全国順位は6位と前年同様でした。令和6年は、記録的な猛暑や大雨等があり農産物の生産には厳しい気象条件であったものの、これらの実績は生産現場の努力の成果であり、土地改良が果たした役割も大きかったと思われます。

また、昨年4月閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」に基づき農業構造転換集中対策が別枠予算で実施し、令和9年度から水田政策や中山間地域等直接支払制度等が見直されることになっています。

このように、政治情勢、国際情勢、農業情勢がめまぐるしく変化し、かつ変化の幅が大きく、まさに激動の時代に突入していると感じています。

土地改良は、これまで時代の変化に応じて転換を進めてきました。令和8年度は、前述した農業構造転換集中対策の中核として農地の大区画化や中山間地のきめ細かな整備等を行うこととしています。令和8年度に執行可能な予算は6,942億円となっていますが、県や市町村の負担軽減のため、地方財政措置の大幅な充実が図られており、また、農業生産法人等が自ら大区画整備等を実施可能な事業も創設されました。今後とも時代の変化に即応し、事業制度等の転換に努めていく必要があると考えています。

青森県は、長年にわたり農業産出額で東北一位であり、全国でもトップクラスの農業県です。今後の土地改良のあり方等について、青森の皆様のご意見を十分お聴きしてから検討を深めていく必要があると考えています。本年度も全力で農政と土地改良の推進に努めてまいります。皆様方からのご指導とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

青森県土地改良事業団体連合会 役員名簿

〔任期：令和7年4月1日から令和11年3月31日まで〕

令和8年4月1日現在



会長 丸井 裕
(稲生川土地改良区 理事長)



副会長 田中 清榮
(岩木川土地改良区 理事長)



専務理事 石澤 雅史
(学職経験者)



理事 増田 教正
(西津軽土地改良区 理事長)



理事 山崎 順子
(田子町土地改良区 事務局長)



理事 三浦 政志
(馬淵川土地改良区 理事長)



理事 鳴海 隆弘
(浅瀬石川土地改良区 理事長)



理事 菊地 清昭
(青森第二北部土地改良区 理事長)

新任



理事 加藤 千尋
(弘前大学農学生命科学部 准教授)



理事 野上 憲幸
(十三湖土地改良区 理事長)



理事 中西 清彦
(小田川土地改良区 理事長)



理事 榎林 文昭
(榎林土地改良区 理事長)

新任



理事 倉光 弘昭
(つがる市 市長)



総括監事 小林 弘
(奥瀬堰土地改良区 理事長)



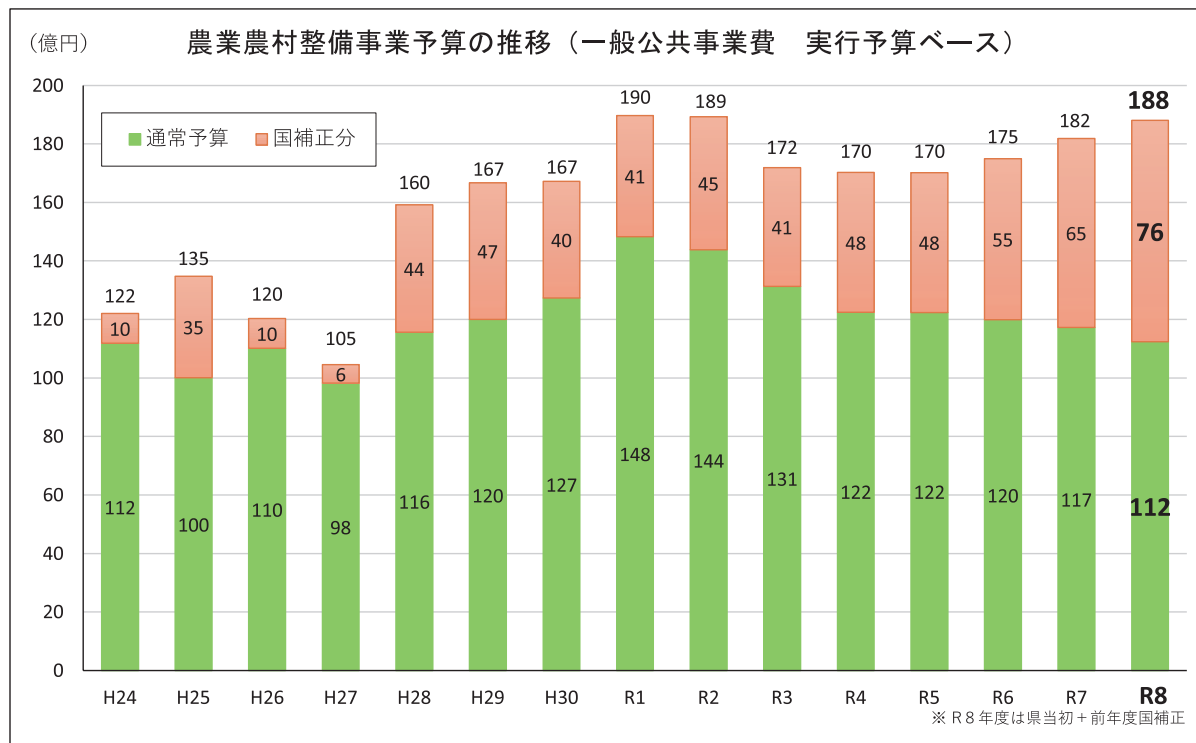
監事 須々田 憲一
(六羽川土地改良区 理事長)



監事 長内 隆彦
(屏風山土地改良区 理事長)

令和8年度 青森県農業農村整備事業予算

県の令和8年度予算（実行予算ベース）は、令和8年度当初予算112億円に前年度国補正予算76億円を合わせて188億円となります。



青森県農地大区画化等推進協議会

2月25日、土地改良会館において、「青森県農地大区画化等推進協議会」の設立総会が開催されました。本協議会では、大区画化等加速化支援事業による基盤整備の取組を推進していきます。

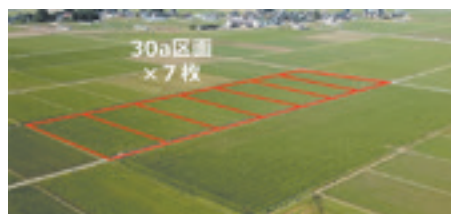
○事業内容

畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等の簡易な基盤整備を定額で支援。

【定額上限】 区画拡大 7万円/10a 畦畔除去 4万円/100m
暗渠排水 14万円/10a 等

※担い手に集約化（面的集積）する場合、定額上限を1.2倍まで引上げ。

1ha以上に大区画化する場合、定額上限を1.32倍までに引上げ



簡易な基盤整備



事業実施主体

市町村
農地中間管理機構
土地改良区
農業協同組合
農業者 等

申請書



交付金

審査・採択

青森県農地大区画化
等推進協議会

事業採択の流れ

申請書



交付金

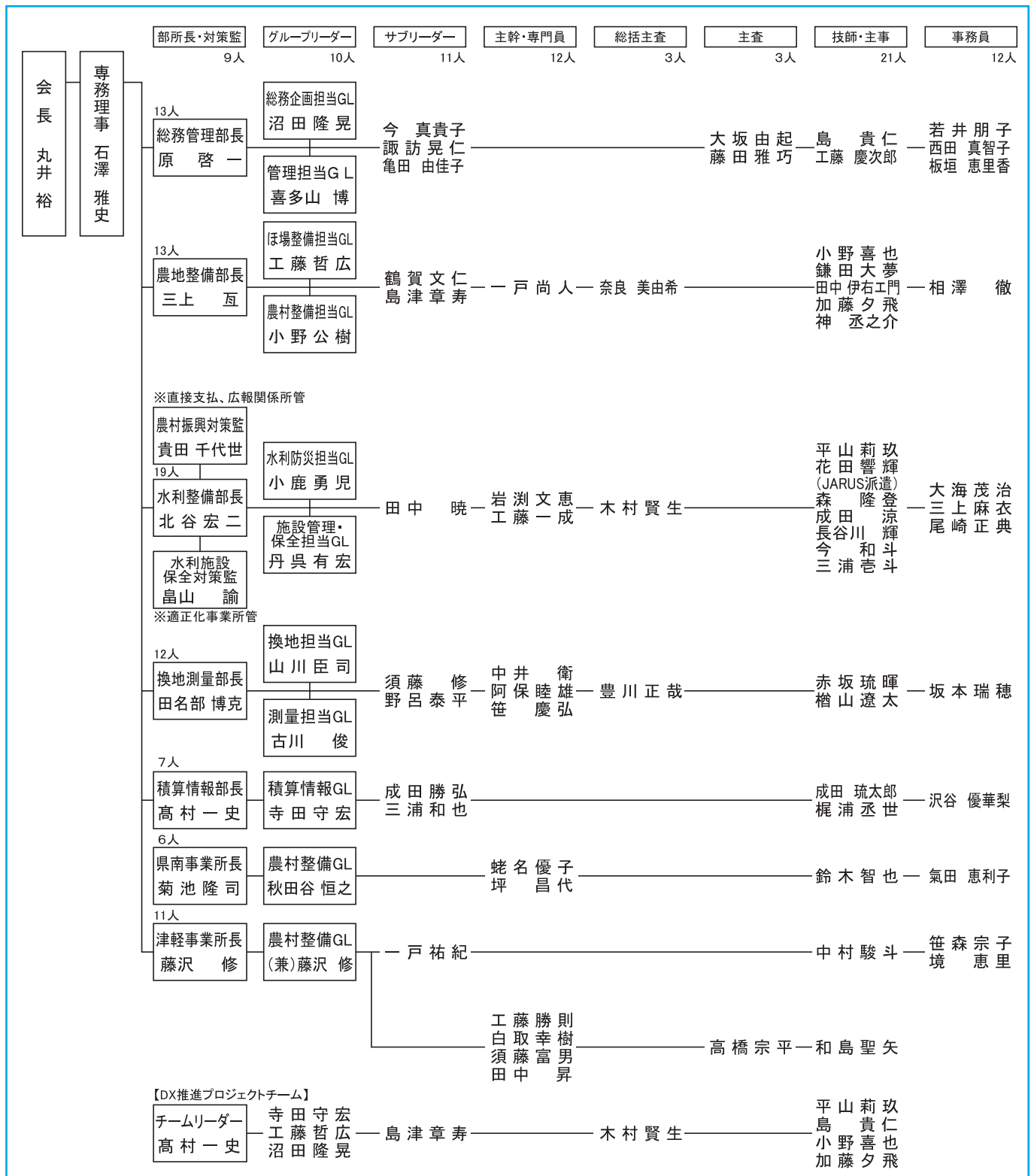
審査

国
(農政局等)

令和8年度 事務分掌 (令和8年4月1日現在)

会 長	専 務 理 事	総務管理部	(総務企画部門) (1)組織運営に関する事 (2)支部及び会員に関する事 (3)事業計画及び予算に関する事 (4)文書及び財産の管理に関する事 (5)職員の管理に関する事 (6)職員と会員の人材育成に関する事 (管理部門) (1)土地改良区の機能強化支援に関する事 (2)適正化事業の事務に関する事 (3)農家負担金軽減支援に関する事 (4)水田活用の直接支払交付金に関する事 (5)青森県農地大区画化等推進協議会の申請交付事務に関する事 (6)土地改良区の賦課金滞納整理に関する相談 (7)国及び県等関係団体との連絡調整に関する事 (8)農業農村整備事業推進に関する事 (9)農村振興技術連盟に関する事 (10)農山漁村-水循環保全学会の役員会に関する事 (11)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		農地整備部	(ほ場整備部門) (1)ほ場整備事業に関する事 (2)農地中間管理事業の推進に関する事 (3)スマート農業に関する事 (4)農地耕作条件改善事業に関する事 (農村整備部門) (1)集落基盤整備事業に関する事 (2)中山間総合整備事業に関する事 (3)畑地帯総合整備事業に関する事 (5)青森県農地大区画化等推進協議会の運営等に関する事 (6)現場技術業務等に関する事 (7)その他特に命ぜられた事項に関する事 (4)農道整備事業に関する事 (5)農道台帳管理に関する事 (6)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		農村振興 対 策 監	(1)多面的機能支払に関する事 (2)中山間地域等直接支払に関する事 (3)-農山漁村-水循環保全学会の活動に関する事 (4)技術実践向上研修に関する事 (5)企画提案書審査会の事務に関する事 (6)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		水利整備部	(水利整備部門) (1)防災減災事業に関する事 (2)河川工作物応急対策事業に関する事 (3)ため池整備事業に関する事 (4)魚道整備事業に関する事 (施設管理・保全部門) (1)防災減災事業に関する事 (2)基幹水利事業に関する事 (3)農業集落排水施設整備事業に関する事 (5)水利権基本調査に関する事 (6)青森県ため池サポートセンターに関する事 (7)その他特に命ぜられた事項に関する事 (4)浄化槽保守点検に関する事 (5)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		水利施設保全 対 策 監	(1)適正化事業に関する事 (2)土地改良施設の診断・管理指導に関する事 (3)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		換地測量部	(換地部門) (1)換地に関する事 (2)農地中間管理事業の推進に関する事 (3)交換分合に関する事 (測量部門) (1)確定測量に関する事 (2)調査測量に関する事 (4)受益農地管理強化対策に関する事 (5)青森県土地改良換地士部会に関する事 (6)その他特に命ぜられた事項に関する事 (3)測量機器等に関する事 (4)その他特に命ぜられた事項に関する事	
		積算情報部	積算情報G	(1)積算に関する事 (2)出来高設計及び財産譲与等に関する事 (3)会計実施検査、災害復旧に関する事 (4)農村災害支援協議会に関する事 (5)受託規程に関する事 (6)積算システムの運用に関する事 (7)水土里情報システムに関する事 (8)OA機器の管理に関する事 (9)その他特に命ぜられた事項に関する事
		県南事業所	農村整備G	(1)現場技術業務等に関する事 (2)管内における設計積算業務に関する事 (3)青森県農地大区画化等推進協議会の技術支援・指導等に関する事 (4)土地改良区の機能強化支援に関する事 (5)土地改良区の賦課金滞納整理に関する相談 (6)換地業務に関する調査 (7)その他特に命ぜられた事項に関する事
		津軽事業所	農村整備G	(1)現場技術業務等に関する事 (2)管内における設計積算業務に関する事 (3)農地耕作条件改善事業等に関する事 (4)青森県農地大区画化等推進協議会の技術支援・指導等に関する事 (5)その他特に命ぜられた事項に関する事
		DX 推進 プロジェクト チーム		(1)本会におけるDX技術の利活用に関する事 (2)その他特に命ぜられた事項に関する事

令和8年度 機構図 (令和8年6月1日現在)



東京出向を終えて

水利整備部 技師 平山 莉玖



令和4年から3年間、東京都の一般社団法人地域環境資源センター（以下、JARUS）に出向しておりました。平山莉玖と申します。

JARUSでは、農業集落排水事業に関わる業務を担当し、特に令和6年1月に発生した能登半島地震に係る災害応援は、在任中で最も印象に残る経験となりました。

今年度は、引き続き農業集落排水事業に従事し、本県における事業推進に貢献できるよう努めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。



各部所長・対策監の取組事項と意気込み

総務管理部 部長

原 啓一

総務管理部では、本会や支部等の組織運営をはじめ、国や県と連携しながら農業農村整備事業推進のための要請活動、年代や職責等に応じた研修会等の開催による人材育成、土地改良区の運営基盤強化に向けた経営診断、複式簿記導入や資格取得への支援、さらには女性理事の登用促進に向けた情報発信などを行っています。

今年度は、本会の安定的な組織運営を図るとともに、国や県、関係機関との連携を一層深めながら、農業農村整備事業を取り巻く課題解決に取り組んでまいります。また、土地改良区をはじめとする会員組織の運営基盤強化や人材育成、情報発信の充実、農業農村整備事業の推進と持続可能な地域農業の発展に貢献してまいります。



農地整備部 部長

三上 亙

今年度は農地の区画拡大に向けた「大区画化等加速化支援事業」の協議会設立後の事業化運営初年度となる年です。事業実施主体となられる農家にとって有用だと思われるように事務局として円滑な運営に努めます。また、従来の農業農村整備事業の調査計画業務に対して「AI」や「ICT」の活用を模索し、業務への有効活用の道筋を見出して職員の省力化にも寄与できることを目標に掲げ業務を進めてまいります。

県南事業所から3年の年月を経て、再び青森市の本部に配属されたのですが、慣れない業務目白押しで日々何とかやっている状態です。職場が近くなった分早起しなくてもいいと思いましたが、年のせいか2度寝もできず、結局は十和田に通っている時と同じかむしろ、睡眠時間が少なくなっているような気がします。それでも老体に鞭を打ち、ひたむきに一つ一つ仕事に向き合い丁寧に進めて行けるよう励んでいきたいと思います。



水利整備部 部長

北谷 宏二

水利整備部では農業水利施設、ため池、農業集落排水に関する業務を担当しております。これらの施設は、老朽化による対策が必要なものが多数あるため、調査を行い適切な状態把握をする必要があります。

今年度は、これまで目視調査が困難であった高所や到達困難場所等についてドローンや管口カメラを使用し調査を実施することで、より精度の高い調査を推進します。

水利整備部では幅広い分野の業務を担当しているため、部員特に若手にはできるだけ多くの業務に携わって経験を積んでもらい、様々な知識や技術を習得し頼られる技術者になってもらいたいと思います。

また、先輩・上司サポートのもと積極的に資格取得を目指してもらい、自信をつけてもらえればと思います。



農村振興対策監

貴田 千代世

今年度は、青森県多面的機能支払推進協議会の事務局として、多面的機能支払に加え、新たに中山間等直接支払制度の支援を行います。両制度ともに農業者の高齢化等による、組織や協定の解散が懸念されています。このため、近隣集落との合併、事務書類作成ソフトの更なる普及等を推進していきます。

多面的機能支払と中山間直接支払は、どちらも農家の方々を支えることで、農地を守るための制度です。当初、農業先進県である青森県において、これら制度の適合性は必ずしも高いとは考えられていませんでした。しかし地域農業を取り巻く環境の変化に伴い、本県においてもこれら制度の真価が問われていますので、会員の皆さまとともに制度の推進に努めてまいります。



水利施設保全対策監

畠山 諭

今年度は、頭首工、用排水路及び機場等の土地改良区施設の保全対策を図るため、特に「農業水利施設の長寿命化対策」に力を入れていきます。近年、農業従事者の高齢化、後継者不足、農村地域の混住化などによる集落機能の低下に伴って、土地改良施設の管理が次第に困難となる等、土地改良事業の実施に関する地元調整課題の増加に伴って事業主体等への助言・指導が強く求められてきています。土地改良施設の診断・管理指導を通じて、適切に施設を管理していくことができる指導を目指します。

また、防災減災機能等など新しい技術を取り入れながら、会員の皆さまが整備補修をして良かったと思われる診断・指導を進めていきます。現場の皆様の声を真摯に受け止め一つひとつの業務に誠意を込めて邁進してまいります。



換地測量部 部長

田名部 博克

今年度は、これから計画に取り掛かるほ場整備地区において、できる限り1ヘクタール以上の大区画、または、隣り合った田の高さを同じくする均平区を提案していきたいと思っています。

大区画化を図ることで自動走行農機といった高性能な機種の導入が可能となり、労働力不足を補うことが可能となります。均平区は将来的に畦畔を除去することで大区画の田となります。

また、人材育成の面では、土地改良換地士、測量士（補）の資格取得に力を入れて行きたいと思っています。人手不足への対応、新技術の導入が可能なのは場整備を実現し、「ほ場整備して良かったなあ」と思ってもらえるよう、部員一丸となって換地測量業務を遂行してまいりたいと思います。



積算情報部 部長

高村 一史

積算情報部では、工事発注に必要な設計書の積算書作成業務を請け負っております。近年では、従来の農道工事や水路工事に加え、ため池整備や頭首工、機場、橋梁等の補修工事や改修工事が増えてきています。これらは土木工事・施設機械工事・橋梁工事・建築工事など複数の工種を包括して積算する必要があります。これら多種多様な工種の積算手法の理解度をより一層高め、円滑に業務を推進するとともに、精度の高い成果品を目指してまいります。

近年、設計において基準書等に記載のない新技術、新工法が採用されるケースが多く、積算事例等がないため積算に苦慮する場面も少なくありません。その様な時のために、設計内容の把握や積算に至るまでのプロセスが重要であると考えております。日頃から積算プロセスを大切にし、特殊工法の積算時に活かして行きたいと考えております。



県南事業所 所長

菊池 隆司

今年度の業務は、従来からの県南地域ほ場整備事業における現場技術業務を継続するとともに、新たな取り組みとして大区画化等加速化支援事業での採択申請・技術支援、さらには土地改良区機能強化支援事業を通じた水土里ビジョンの策定や統合整備の推進支援、および換地業務に関する調査を多角的に遂行します。

また、県南地域会員の「困り事」に県南事業所一丸で対処し、業務を遂行してまいります。



津軽事業所 所長

藤沢 修

今年度は、より早く農地を整備し、より早期に生産コスト及び労力削減を発揮させるための『大区画化等加速化支援事業』が本格的に動き出します。

農地の区画拡大によりスマート農業など新しい技術を取り入れることが可能になり、さらなる生産コスト削減を図ることができます。

農業者の皆様が自ら行う畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等の簡易な基盤整備における施工方法等に係わる技術支援・指導を実施してまいります。

津軽事業所員一同、青森県農地大区画化等推進協議会の技術支援・指導の他、管内における設計積算及び現場技術業務など一つ一つの業務について、会員皆様のご期待に応えるよう邁進してまいります。





新しい職員を紹介します！

換地測量部

ならやま りょうた
檀山 遼太



出身は五所川原市で、高校は五所川原高等学校、大学は青森中央学院大学の経営法学部経営法学科を卒業しました。高校では化学部に所属しており、酸化チタンの光触媒の効果について実験していました。大学では、津軽塗に対する大学生の意識調査について研究していました。

趣味は読書とスポーツ観戦で、読書は様々なジャンルの小説を読み、直近は恩田陸『蜜蜂と遠雷』や一穂ミチ『スモールワールズ』を読みました。スポーツ観戦は野球や陸上から将棋まで幅広く見ます。特に野球をよく見ており、東北楽天ゴールデンイーグルスを応援しています。

勤務してからまだ日が浅く、不慣れなことも多いですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

出身地：五所川原市
出身校：青森中央学院大学
趣味：読書、スポーツ観戦

積算情報部 積算情報グループ

かじうら じょうせい
梶浦 承世



出身は五所川原市で、五所川原農林高等学校環境土木科を卒業しました。高校では水循環班に所属しビオトープの水質改善とヤリタナゴやキタノメダカなどの青森県純絶滅危惧種レッドリストに指定されている生き物や他在来種が生態系を崩さず快適に暮らせるよう除草や、外来種であるアメリカザリガニやウシガエルの幼生駆除、アサザ移植などビオトープの環境改善に取り組みました。

趣味は音楽鑑賞で、Adoが好きです。中学生から聴いており、家での勉強や登下校など、いつも聴いています。CDも毎度初回限定版を買い自分の部屋に飾るなどして楽しんでいます。まだライブに行ったことがないので行ってみたいです。

連合会の一員として活躍できるよう日々努力していきます。

出身地：五所川原市
出身校：五所川原農林高等学校
趣味：音楽鑑賞

農地整備部

じん じょうのすけ
神 承之介



出身はつがる市で、五所川原農林高等学校の環境土木科を卒業しました。中学校ではバスケットボール部に所属していましたが、高校ではボランティア部に所属してイベントのスタッフなど地域に貢献していました。

趣味は、サッカー観戦をすることです。海外で活躍している日本人選手が多くいるのでその人たちが日本を背負い頑張っている姿を見るのが好きです。その人たちがゴールを決めるのを見ると自分も頑張れます。

親元を離れて生活していくことが初めてなので、掃除や食事などの身の回りの事をおろそかにならないようにしていきます。掃除が苦手なので、面倒くさながら毎日やって行きたいと思っています。

連合会の一員として活躍できるよう努力して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

出身地：つがる市
出身校：五所川原農林高等学校
趣味：サッカー観戦

水利整備部

みうら かずと
三浦 壱斗



出身は平川市で、弘前工業高等学校を卒業しました。小学生の時からずっとバスケットボールしてきました。ポジションはポイントガードでチームの司令塔として試合を支配してきました。ですが高校最後の年に、腰を痛めてしまいあまり試合に出場することができないという悔しい経験をしました。

いろんな整骨院にいったのですが治らず大学病院に行き、調べたところ背骨が普通の人間より一つ多いと言われ、とてもびっくりしました。

私は、お金を少しでも多く貯めたいので平川市の実家から通勤しています。毎日浪岡駅まで車でいき、そこから電車で通勤しており、最近ミスチルを聞いて通勤しています。

いち早く会社の戦力になれるように日々、成長できるように努力していきますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

出身地：平川市
出身校：弘前工業高等学校
趣味：スポーツ観戦

DX推進プロジェクトチーム

本会では、DX技術の利活用を推進するため、今年度より新たに「DX推進プロジェクトチーム」を立ち上げました。今後は、UAV測量や3次元設計、広報活動など積極的に取り組んで参ります。また、内部・外部講師による講習等で技術の向上や人材確保・育成に取り組んで行きます。

今後の取組

【調査・設計】

UAV測量を活用した地形の3Dモデルを作成し、土量計算や3次元設計図面の基礎資料として活用し、設計業務の効率化及び品質向上を図ります。また、現地状況を詳細に可視化することで、調査・設計業務の効率化・高度化を図ります。

【事業説明会・広報活動】

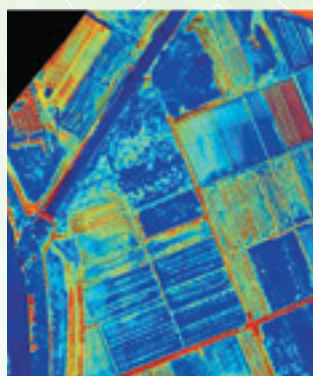
UAV測量や3次元データを活用し、施工内容や完成イメージを視覚的に分かりやすく表現し、地域住民の理解促進や合意形成の円滑化を図ります。さらに、ドローンによる迫力ある空撮映像や農村地域の景観、農業水利施設の全景等を活用し、広報誌やホームページ、SNS等において積極的な情報発信を行うことで、農業農村整備事業の役割や魅力を広くPRします。

【人材育成】

DX技術に対応できる人材の確保・育成を目的として、内部・外部講師による定期的な技術講習を実施します。また、実務を通じた技術習得や知識共有を進めることで、職員の技術力向上と技術継承を図り、将来的な業務の効率化や品質向上につなげます。



土地連で新規購入したドローン



排水不良エリアの確認



遊休農地の把握



航空写真(風合瀬地区)

水土里ネット青森 第69回 通常総会を開催

本会の第69回通常総会が、3月18日（水）青森県土地改良会館で開催され、市町村及び土地改良区等の会員108名（委任状56名）が出席しました。

開会にあたり丸井会長は、「国、県等と歩調を合わせながら、会員である市町村、土地改良区とともに、本県の基幹産業である農業の更なる発展に寄与していきたい」と挨拶しました。

続いて、土地改良事業推進の功績をたたえる土地改良功劳者表彰が行われ、団体の部では、十和田土地改良区、名川土地改良区が役員及び職員の部では役員20名、職員7名が表彰を受けました。

その後、来賓の青森県副知事 小谷知也様、衆議院議員 木村次郎様、東北農政局地方参事官 平山和徳様、青森県議会議長 工藤慎康様から祝辞をいただきました。

議事では、森清秀理事長（蓬田村土地改良区）を議長に選任し、令和6年度決算関連、令和7年度補正予算、令和8年度予算関連等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに可決されました。

また、役員の補欠選任が行われ、新たに理事に小田川土地改良区 中西清彦理事長が選任され、監事に屏風山土地改良区 長内隆彦理事長がそれぞれ選任されました。

最後に屏風山土地改良区の長利好晃氏により「決議文」が朗読され、満場の拍手で採択されました。



丸井会長挨拶



総会の開催状況

— 決 議 文 —

- 一 食料・農業・農村基本法を踏まえ、地域のニーズに対応した農業農村整備を着実に進めるため、当初予算を基本とした安定的な予算を確保すること。
- 一 農業の構造転換を図り、農地の大区画化と集積・集約化、高収益作物の生産拡大、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化に資する基盤整備を推進すること。
- 一 農村地域の国土強靱化に向け、豪雨・地震等による災害対策、農業水利施設の更新・長寿命化や、防災・減災対策を推進すること。
- 一 農業・農村の有する多面的機能の維持発揮に向けた、多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度において、持続可能な活動組織の体制づくりを支援すること。
- 一 土地改良区の組織体制と運営基盤の強化に向け、水土里ビジョンの策定や人材育成のほか、土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。

令和8年3月18日

青森県土地改良事業団体連合会 第69回通常総会

第67回 全国土地改良功労者等表彰

全国土地改良事業団体連合会主催の、良好な運営を継続している土地改良区と、土地改良区の運営に多大な貢献をされた団体及び個人を表彰する「全国土地改良功労者」において団体表彰に2団体、個人表彰に3名が選ばれました。

《団体表彰の部》



砂沢溜池土地改良区
長内 一敏 前理事長

《団体表彰の部》



屏風山土地改良区
長内 隆彦 理事長

《役員表彰の部》



森 清秀 理事長
(蓬田村土地改良区)

《職員表彰の部》



漆坂 修 事務局長
(奥瀬堰土地改良区)

《職員表彰の部》



小澤 郁子 事務局長
(下長土地改良区)

「設立からこれまでを振り返って」

あおもり水土里ネット女性の会

会長 山崎 順子（田子町土地改良区事務局長）



令和3年7月 「玉ねぎの収穫体験」



令和7年6月 「第7回通常総会」

平成30年9月3日(月)設立。翌日の新聞3紙に掲載されると反響がとても大きく、土地改良区の電話が鳴り止まず、その対応で仕事にならない程でした。男性社会の土地改良において世間の耳目を集めました。当時は、他県の情報も少ないなか邁進、自分に課した目標は、全国の集会であおもり水土里ネット女性の会を周知していただく事に徹底しました。今後の活動に必ずプラスになると信じて、そして女性会員が伸び伸びと活動できる環境になる事が願でした。

私達の働く土地改良区・連合会は、農業農村整備において大変重要な仕事をしています。女性の会の活動は、会員相互の親睦による資質向上と、情報ネットワークの確立を図り日々の仕事に役立てる学びの機会のある場だと思っています。

女性会員は、着実に輝いて参りました。会は、次のステップを模索し、女性のエンパワーメントの実現に一步前進して行ければと思います。

活動に参加出来る全てに感謝を忘れず、自分の考えをしっかりと持ち笑顔と思いやりで行動し、未来を楽しく歩んでいただけると幸いです

あおもり水土里ネット青年部会

会長 浅利 郁（西津軽土地改良区事業課長）



令和6年11月 「現地研修会の様子」



令和7年6月
「農業農村整備の集いでガンバロー三唱」

全国初の土地改良関係団体の青年部会！

水と土を守る担い手の育成を目的に活動している青年部会が、設立から3年経過しました。

本会の活動は主に総会、研修会及び現地研修会で、集まりがあればもちろん懇親会がセットされる仕組みにしています。研修会ではワークショップや意見交換形式にして、各地区の課題や情報を共有し、また、現地研修会では地区の会員自らが講師として説明するなど、資質の向上に繋がるよう、工夫を凝らしてきました。

特に懇親会は、県内全域から同世代が集まるということで、毎回大いに盛り上がり、何とも言えない楽しい時間を共にすることで、最も重要となる横のネットワークの構築に繋がっております。

この繋がりを大切にしながら、本県の農業・農村の発展のため、青年部会としてしっかりと役目を果たしていく所存ですので、引き続き皆様のご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

女性の会とともに、我々の年代で、青森県の農業・農村を共に盛り上げていきましょう！

研修会等の実績

技術力実践向上研修

1月20日（火）、青森市の「アラスカ」において、技術職員としての知識および技術の向上を目的とした研修会を開催し、土地改良区、市町村および土地連の技術職員ら74名が参加しました。

研修会では、「土地改良法の改正概要と本県の対応状況」をはじめ、「土地改良施設（分水門）の整備補修事例紹介」、「ほ場整備工事の施工について」、「下水道管路調査事例紹介および管口カメラの活用・安全管理について」、「多面的機能支払による農業用施設の保安全管理について」など、多岐にわたる内容について講義が行われました。

参加者は、法制度や現場での実践的な技術への理解を深める有意義な機会となりました。



研修会の様子

生成AI講習会

3月10日（火）、土地改良会館において、生成AIの基礎的な知識と実践的な使い方の習得を目的とした講習会を、土地連職員を対象に開催しました。

講師には、あおもりIT活用サポートセンターの風晴様をお迎えし、前半では生成AIの仕組みや個人情報への取扱い方、著作権の重要性など、活用にあたって留意すべき基本的事項についてご講演いただきました。

後半では、実際に生成AIを操作しながら、適切な指示の出し方の工夫や、文章作成・要約など業務への具体的な活用方法について理解を深めました。

本講習を通じて、職員の生成AIに対する理解が深まり、今後、業務の効率化や高度化に向けた活用が期待される有意義な機会となりました。



風晴氏による講習

令和8年度土地改良関係団体若手職員研修

5月18日（月）から20日（水）までの3日間、東京都の全国市長会館およびルポール麹町において、若手職員の農業農村整備事業に関する知識の習得と技術力の向上を図ることを目的とした研修会が開催され、本会から4名の若手職員が参加しました。

本研修では、土地改良事業に関する施策や、土地改良事業・保安全管理などについて講義が行われるとともに、グループに分かれ、「農業・農村の将来に向けて」をテーマに、課題解決に向けた取組や実現に向けた方策についてグループディスカッションを行いました。

他県職員とのネットワークを広げる、いい機会となりました。



グループディスカッションの様子

会議等の実績

水土里情報利活用協議会 通常総会を開催

3月10日（火）、土地改良会館において、水土里情報システムの活用ルールの整備や、システムの確立・維持・更新に向けた有効活用を図ることを目的とした「水土里情報利活用協議会 通常総会」が開催され、北奥羽土地改良調査管理事務所、県、土地改良区、農業会議、農業共済組合、あおもり農業支援センターなどから19名が出席しました。

総会では、次期システムの検討状況や活用事例に加え、水土里ビジョン策定の基礎資料となる農業水利施設のGISデータを作成した「管理施設情報電子化業務」について報告が行われました。



通常総会の様子

青森県多面的機能支払推進協議会 通常総会を開催

3月18日（水）、土地改良会館において、多面的・中山間事業の連携強化に向けたサポート体制の構築を目的とした「青森県多面的機能支払推進協議会 通常総会」が開催され、県・市町村など47会員（書面29会員）が出席しました。

総会では、令和6年度決算や令和8年度事業計画等の議案が承認されたほか、規約の一部改正が特別議決事項として承認され、令和8年度から新たに中山間地域等直接支払事業の推進活動を担うことが承認されました。これにより階上町、横浜町、風間浦村が新たに会員となり、本県の多面的機能の維持・発揮に向けた実効性の高い支援を展開していきます。



総会の様子

弘前大学・三本木農業恵拓高等学校で 出前講座を実施

1月9日（金）弘前大学、3月3日（火）三本木農業恵拓高等学校において、農業農村整備事業への理解促進を図ることを目的に、県、土地連、建設業者、設計コンサル会社による合同の出前講座を実施しました。

講座では、本会職員が登壇し、本会の役割や業務内容の説明、特にUAV測量をはじめ、ICTを活用した業務への積極的な取組内容について説明しました。また、学生生活の過ごし方や就職活動の経験等のアドバイスを送りました。



出前講座の様子

各種行事

クリーン・キャンペーンに参加

4月11日（土）、用排水路へのごみ投棄防止啓発活動の一環として、西津軽土地改良区が主催する「クリーン・キャンペーン」が開催され、318名が参加しました。本会からは職員およびその家族、計28名が参加しました。

当日は小雨の降る中での実施となりましたが、28回目となる活動は、特にごみが多いとされる古田川および中の川排水路に分かれ、火ばさみとごみ袋を手に、ごみの分別を行いながら回収作業を行いました。



参加者での集合写真

稲生川ウォーク2026へ参加

4月19日（日）、かつて三本木原に農業用水を引き入れ、地域に実りをもたらした新渡戸傳をはじめとする先人たちの功績をたどる「稲生川ウォーク2026」が開催され、本会から職員およびその家族、計12名が参加しました。

当日は春らしい穏やかな気候のもと、満開の桜や新緑に彩られた稲生川沿いの景色の中、参加者はそれぞれのペースでウォーキングを楽しみながらゴールを目指しました。



春の稲生川沿いを歩く参加者

水土里ネットラジオ時報CM(春)

農業農村整備の広報活動の一環として、農業に携わる皆さんへのエールを込めるとともに、農業・農村の魅力や「土地改良」の役割を広く発信することを目的に、「ラジオ時報CM」の収録を行いました。

放送は、5月1日から6月4日までの期間、平日の午後1時に実施され、農業や農村を身近に感じていただく機会となりました。



1週目～2週目の参加者



3週目～5週目の参加者

令和8年度 あおもりの農山漁村フォトコンテスト

林業・畜産業の
写真大募集



高校生
以下の応募
大歓迎

農業

漁業



作品募集

青森県の農山漁村の風景や、農林水産業に携わる人々の姿、地域の暮らしや文化などを写真で表現してみませんか。
今年度も2部門で募集します。

- 農山漁村の風景部門
- 人々の暮らし部門

【各賞】部門ごとに

最優秀賞	1点	(商品券2万円分)
優秀賞	2点程度	(商品券1万円分)
優良賞	4点程度	(商品券5千円分)
青少年奨励賞 (高校生以下が対象)	3点程度	(商品券5千円分)

応募締切

- 令和8年10月30日まで

※詳細は、水土里ネット青森ホームページ
(<https://www.aodoren.or.jp/>) をご覧ください。

第48回 全国土地改良大会奈良大会

主催 全国土地改良事業団体連合会
主催 奈良県土地改良事業団体連合会主催

大会テーマ

『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』
水土里が育てる まほろばの奈良

【日程】

2026年11月17日(火)

会場：奈良コンベンションセンター
奈良県奈良市三条大路1丁目691-1



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って



開会式／閉会式	10月10日 (土)	／	10月20日 (火)
国スポ本大会	10月10日 (土)	～	10月20日 (火)
障スポ	10月23日 (金)	～	10月26日 (月)

